

		はい	どちらともいえない	いいえ	意見	改善	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	67%	33%	0%	・法令順守している。 ・季節に応じた壁面を変えている。パーテーションを使い、プライバシーを保護している。室内でもプールやしゃぼん玉が出来る場所がある。	整理整頓を行い、余分なものを置かないようにして、スペースの確保に努めます。
	2	職員の配置数は適切であるか	50%	33%	17%	・法令順守している。 ・時間帯により配置数が少ない時がある。	適切な配置数になるよう、適宜増員募集を行います。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	17%	67%	17%	・駐車場から出入り口への段差などにスロープを設置して極力車いす等の移動が滑らかになるようにしている。 ・駐車場から玄関の所にスロープはあるが、車止めがあったりしてバギーや車いすを動かす時に、やや動かしにくい。	駐車場のスロープを買い足すとともに、仮置き場のスロープから正規のものへ早く作り変えていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	67%	33%	0%	・朝礼や職員会議などで情報を共有し、各職種の専門性も盛り込んだPDCAサイクルに参画している。 ・ノートなどを使い、欠席していた職員にも分かるようにしている。	個別支援計画書の担当制が始まり、以前よりPDCAサイクルを意識した業務ができるようになっています。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	60%	40%	0%	・2019年4月より開始。 ・現在行っている。	保護者の皆様から頂いた評価表をもとに改善に努めていきます。
業務改善	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	20%	40%	40%	・2019年4月より開始。 ・今後行っていく。	今回の評価結果からホームページにて公開予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	25%	75%	・これからかと思えます。	今後検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	67%	33%	0%	・外部の研修はもとより、事業所内での職員研修を行っている。 ・時間、日程が合えば色々行ってみたい。	他事業所や療育センター、病院等へ研修に行けるよう、スタッフの充実に力を入れていきます。
適切な支援の提供	9	子どもの状態や保護者のニーズ等に基づいた個別支援計画を作成しているか	83%	17%	0%	・保護者にニーズを面談で確認後、作成している。 ・担当職員以外も全員が参加し、話し合いをしている。	面談の回数や送迎時に話す回数を増やして、よりたくさんの方のニーズを引き出す機会を持つようにしていきます。また、スタッフの質の向上を行い、深く計画を考える力をつけていきます。
	10	子どもの状態等を知るためのアセスメントシートや健康調査票などの事業所内で決められたツールはあるか	100%	0%	0%	・緊急時対応表などもある。	決められたツール以外のことで、必要な項目などが増えたときにはその都度、書き加えたり、最新のものになっているか確認していきます。
	11	発達支援や家族支援や地域支援などから、子どもの状態に基づいた必要な項目が選択され、具体的な支援内容が設定されているか	83%	17%	0%	・保護者のニーズ、子どもの状態などを踏まえ、各専門職の意見とOZでできることを設定している。	担当者会議や学校の送迎時しか時間が取れないため、短い時間でも必要な情報のやり取りができるよう、日頃から意識して連携を取っていきたく思います。
	12	個別支援計画に沿った支援が行われているか	83%	17%	0%	・担当になってスタッフ間で話すことが多くなり、以前より一人ひとりの目標が頭に入るようになった。 ・1ヶ月に1回のモニタリングで見直しや再確認を行い、計画に沿った支援を行うようにしている。 ・毎月のミーティングで話し合うことで、意識し、支援するようにしている。	担当になってスタッフ間で話すことが多くなり、以前より一人ひとりの目標が頭に入るようになりました。 ・今後も定期的にモニタリングを行うことで、見直しや再確認を行い、計画に沿った支援を行うようにしていきます。

適切な支援の提供	13	様々な職種が連携して活動内容を設定しているか	83%	17%	0%	・今後皆で進めていきたい。	計画を立てる時も会議をしっかりと行い、専門職の意見を取り入れられるようにしていきます。
	14	活動内容が固定化しないように工夫しているか	83%	17%	0%	・季節の活動や親子参加のイベント関係、保育士だけでなくリハビリ目線からのストレッチ体操など工夫している。 ・季節に応じたイベント(クリスマスや節分など)を行っている。室内遊びだけでなく、お出かけも取り入れている。 ・全員で話し合う機会がある。もう少し回数が増えると良い。	個別支援計画立案にの会議やモニタリングの時はもとより、朝礼や申し送りなどの時間も活用して、活動の振り返りや計画案の話し合いを活発に行うようにします。また、保護者の方やご利用者様の本人の意見をもっと取り入れていきたいと思っています。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	33%	67%	0%	・絵本の読み聞かせや合奏などは集団で行い、機能面で製作が難しい場合やリハビリは個別に行うなどしている。 ・必ずしも利用者さん全員が個別活動と集団活動の両方を取り入れているとは限らない。(個別活動に重点を置いている人が多い?)	利用時間の見直しや活動の変更などの工夫を行い、個別活動と集団活動、両方への参加ができるようにしていきます。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	33%	50%	17%	・朝礼にて行っている。 ・イベント(お出かけや製作など)がある時は打ち合わせているが、毎日ではない。	朝礼での内容の確認を徹底するとともに、全員が一通りの支援内容を把握するように努めていきます。
適切な支援の提供	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	17%	67%	17%	・その日のうちに打ち合わせをすることが難しい時は翌日の朝礼にて申し送りを行っている。 ・気づいた点や利用者さんの反応などは振り返るが、毎日ではない。 ・時間があれば終礼をしていきたい。	今後も当日に打ち合わせや申し送りを行い、難しい場合には翌日の朝礼で必ず申し送りを行うようにします。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	50%	50%	0%	・記入漏れがないようにスタッフ間で声掛けを行う必要がある。 ・活動の様子や体調などの記録を毎回取っている。 ・記録は取っているが、時々記録漏れがある。 ・細かなところもきちんと記録をつけていきたい。	お互いに声掛けやチェックを行うことで、記入漏れを減らし、モニタリング時には記録を見返して振り返りを行います。
	19	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	83%	17%	0%	・毎月1回行っている。 ・毎月忘れないようにしたい。	今後も毎月モニタリングを行い、計画の再確認や、現状の認識や課題の見直しを徹底していきます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	50%	33%	17%	・送迎に出るスタッフを調整しながら行っている。 ・テーマとなる議題(リハビリ⇒リハ担当など)に合わせて状況を最もよく知るスタッフが参画している。 ・参加する機会が少ない。	今後も状況のよく分かるスタッフが参加できるよう、調整を行います。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	17%	50%	33%	・相談支援専門員と定期的な連絡や何かあった時の相談などを行っている。	関係各所との連携がスムーズに取れるよう、勉強会等に参加していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	33%	17%	50%	・相談支援員との連携はあるが、病院や訪問看護等との密な連携までは取れていないと感じる。 ・地域との連携を把握できていないので、もっと知っていかねばと思います。	ご自宅での様子を知るために訪問看護や訪問リハの見学を積極的に行っています。また、今後も必要な場合には見学等を行っていきます。
関係機関や保護者との連携	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	67%	33%	0%	・保護者を通して主治医の考えを聞き、協力医療機関等と緊急時の対応など必要な場合、事前に連絡を取り合っている。 ・緊急時の連絡先はまとめている。	特に緊急時の搬送先が主治医であった場合には、事前に主治医の先生と直接会う機会を作り、密に連携できるよう心がけていきます。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	17%	67%	17%	・見学や情報提供の要請があれば、経緯などの説明を行っている。 ・移行した利用者さんがまだいない。	今後、移行する利用者さんが増えていくと思うので、積極的に情報の共有を密にしていきます。

保護者との連携関係機関や保護者との連携	25	小学校や特別支援学校(小学部)との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	17%	83%	0%	・見学や情報提供の要請があれば、経緯などの説明を行っている。 ・一度町の教育委員の方が来られたことがあったが、あまり深い情報共有はなかった。	お互いの理解を深めるため、さらに詳しく連携を取ってきたいと思います。
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	17%	67%	17%	・リハビリの様子の見学や医療的ケアの助言を受けたりしている。 ・みらい学園の先生と利用者さんのその日の状態を確認するが、連携や助言までは至っているとは言えない。 ・今後していければと思います。	療育センターとはリハビリの見学で何度か助言を受けているが、その他の専門機関とはあまり連携が取れていないので、今後連絡を取り合い、連携を深めていきます。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害の有無に関わらず、様々な方達と活動する機会があるか	0%	17%	83%	・2月現在活動の機会はなし。 ・現在は他施設との交流までは至っていない。 ・今後していければと思います。 ・幼稚園の先生等との情報交換を行う時間が必要。	保育所等との交流はないため、地域に密着した施設となれるよう、今後保護者の方の意見も参考にしながら、交流する機会を持ちたいと思います。
	28	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0%	33%	67%	・地域の会議へ出席している。	地域の会議には積極的に参加するようにしているが、数が少ないため、情報をしっかりとらんで、もっと参加できるようにしていきたいと思っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	83%	17%	0%	・送迎時や連絡ノート、電話や面談などで伝えあっている。 ・保護者になるべく伝えるようにしています。	今後は1日の様子だけでなく、発達の課題や状況についても、細かく話す機会を作りたいと思います。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	0%	33%	67%	・今後、ご家族への支援を積極的に行うよう、準備を進めていく。	家庭での状況をもっと把握し、ペアレントトレーニングへとつなげていきたいと思っています。
保護社への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	67%	33%	0%	・見学、体験、契約の時に行っている。	スタッフの知識を深め、より丁寧な説明ができるようになります。
	32	児童発達支援ガイドラインや子どもの状況に基づいて作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	83%	17%	0%	・担当者から説明を行い、同意を得て実施している。	今後もより分かりやすく的確な支援内容の説明を行っていききたいと思います。
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	83%	17%	0%	・子育ての悩みや兄弟児の悩み、ご家族の体調などの相談に応じ、支援を行っている。	保護者の方々より密に連絡を取り合い、必要な助言や支援が行えるようにします。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	17%	67%	17%	・親子参加のイベントで親同士の顔合わせはあるものの、子ども中心となるため、連携を支援しているとは言いえない。 ・親子参加のイベントの日を設けているが、保護者同士の連携の支援までは至っているのは今後の課題。 ・今後増やせたらと思います。	イベント後のお茶会など保護者の方が集まりやすい場を設けて保護者同士の連携を支援していきます。
保護者への説明責任等	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	83%	17%	0%	・事業所内でできることはすぐに上司に相談しながら対応している。	避難訓練を保護者の方も一緒に行うという申し入れについて、まだ実現できていないので、今後具体的に話をまとめていきます。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	17%	67%	17%	・7月よりOZだより(公報)が滞っていたが、2月より定期的に発行。 ・OZだよりを発行しているが、定期的ではない。(数ヶ月分をまとめて配った) ・フェイスブックをあげ、日頃の活動の様子を発信しています。	Facebook以外のSNSも利用して情報発信ができるよう企画中です。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	83%	17%	0%	・写真に名前がうつらないように承認をきちんと取っている。	書類や写真の管理等で個人の特定ができないようにするなど注意しています。また、保護者には意向確認書で写真の使用等について詳しく確認しています。

	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	50%	50%	0%		写真カードを使用しているが、今後は他の方法も検討して用意していきます。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	0%	100%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の招待は感染症リスクや利用者の保護者の許可が得られない等の理由により行っていない。</li> <li>・現在は地域住民との関りまでは持っていない。</li> </ul>	事業所の行事に地域住民を招待することは感染症のリスクもあるため行っていないが、今後も地域の祭りや催し物には希望する利用者に参加していきます。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	67%	33%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者にも周知する。</li> </ul>	防犯マニュアルについては様々な意見を集約して内容を精査し、意味のある訓練へとつなげていきたいと思っています。
非常時等の対応	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月設定を変えて行っている。</li> <li>・毎月1回は開催している。</li> <li>・毎月行うようにしている。</li> </ul>	今後も毎月の避難訓練を続けていきたいと思っています。また、来年度は消防署に依頼し、救命救急の訓練を行う予定です。
	42	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	50%	50%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康調査票により確認している。</li> <li>・けいれんやてんかんの子の様子は把握しているが、予防接種までは聞いていない。</li> </ul>	今後も健康調査票への記入や看護師の聞き取りにて確認していきます。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	17%	83%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明らかな食物アレルギーは現在なし、指示書は頂いていない。</li> <li>・アレルギーの有無は把握しているが、医師の指示書まではない。</li> </ul>	今後、食物アレルギーの子どもが利用する場合には、医師の指示をしっかりと守り、アレルギー反応を起こさないよう注意していきます。
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	83%	0%	17%		今後は朝礼や会議で共有するだけでなく、書類を回覧し、閲覧時にチェックをすることで、必ず全員が共有するようにしていきます。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の職員会議において研修を実施している。</li> <li>・毎月職員会議で話している。</li> </ul>	今後も毎月の職員会議で研修の場を設け、虐待につながる言動に注意したり、スタッフ間でお互いに言い合える関係づくりを行っていきます。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	83%	17%	0%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チェック表を作成して細かくチェックしている。</li> <li>・チェック表などを作成、最小限で行っている。</li> </ul>	今後もやむを得ない事由が発生した場合には、保護者に説明したうえで同意を得て、個別支援計画に記載していきます。また、身体拘束をやむを得ず行った際にはチェック表を用いて記録を行います。